

1. 都市計画道路とは

都市計画道路は、都市計画法に定められている都市施設の一つであり、人々の生活にとって欠くことのできないものです。道路の担う機能としては、人や物資等、都市における円滑な移動を確保するための交通機能や、道路を適正に配置することで街並みを形成するための都市環境機能、災害時の物資の輸送や避難場所へ向かう避難路を担う都市防災機能、良好な都市空間を形成し公共交通や供給処理施設等の収容空間を確保するための空間機能、及び都市構造を形成し、街区を構成するための市街地形成機能など、多様な機能を有しています（表1. 1）。

このように、様々な機能を有する都市計画道路の整備が不十分であると、自動車などの交通の渋滞を引き起こすだけでなく、経済活動の停滞につながるとともに、人々の生活環境、安全性にまで影響を及ぼす可能性があり、社会性・経済性の観点からも、非常に重要な都市基盤であるため、必要な道路の適切な整備は、継続していく必要があります。

表1. 1 道路の機能

機能の区分		内容	
交通機能	通行機能	人や物資の移動の通行空間としての機能（トラフィック機能）	
	沿道利用機能	沿道の土地利用のための出入、自動車の駐停車、貨物の積み降ろし等の沿道サービス機能（アクセス機能）	
空間機能	都市環境機能	景観、日照等の都市環境保全のための機能	
	都市防災機能	避難・救援機能	災害発生時の避難通路や救援活動のための通路機能
		災害防止機能	火災等の拡大を遅延・防止するための空間機能
	収容空間	公共交通のための導入空間	バス等の公共交通を導入するための空間
		供給処理・通信情報施設の空間	上下水道、ガス、電気、電話等の供給処理および通信情報施設のための空間
	道路付属物のための空間	交通信号、案内板、ストリートファニチャー等のための空間	
市街地形成機能	都市構造・土地利用の誘導形成	都市の骨格として都市の主軸を形成すると共に、その発展方向や土地利用の方向を規定する	
	街区形成機能	一定規模の宅地を区画する街区を形成する	
	生活空間	人々が集い、遊び、語らう日常生活のコミュニティ空間	

出典)「実務者のための新都市計画マニュアル」(社)日本都市計画学会編より

また、交通機能から都市計画道路は次の種別に分類されます。

表1. 2 都市計画道路の種別と機能

道路の種別		道路の機能
自動車専用道路		都市高速道路、都市間高速道路、一般自動車道等の専ら自動車の交通の用に供する道路で、広域交通を大量かつ高速に処理する
幹線街路	主要幹線街路	都市の拠点間を連絡し、自動車専用道路と連携し都市に出入りする交通や都市内の枢要な地域間相互の交通の用に供する道路で、特に高い走行機能と交通処理機能を有する
	都市幹線街路	都市内の各地区又は主要な施設相互間の交通を集約して処理する道路で、居住環境地区等の都市の骨格を形成する
	補助幹線街路	主要幹線街路又は都市幹線街路で囲まれた区域内において幹線街路を補完し、区域内に発生集中する交通を効率的に集散させるための補助的な幹線街路である
区画街路		街区内の交通を集散させるとともに、宅地への出入交通を処理する。また街区や宅地の外郭を形成する、日常生活に密着した道路である
特殊街路		専ら歩行者、自転車又は自転車及び歩行者のそれぞれの交通の用に供する道路である

出典)「実務者のための新都市計画マニュアル」(社)日本都市計画学会編より



自動車の通行機能を大きく担う
幹線街路（主要幹線街路）の例

藤沢厚木線



沿道利用や生活空間としての
機能を大きく担う
幹線街路（補助幹線街路）の例

藤沢町田線（銀座通り）

なお、都市計画道路見直しでは、本市の都市計画に関する基本的な方針を示し、都市計画を推進していくための指針である「藤沢市都市マスタープラン（平成 11 年策定）」（以下、「都市マスタープラン」）と整合を図っています。今回の見直しにおいて用いた一般的な名称と都市マスタープラン上の名称は異なるため、都市マスタープランを参照される場合は、以下の表 1. 3 のとおり置き換えてください。

表 1. 3 一般的な名称と都市マスタープランにおける名称の対照表

	一般的な名称	都市マスタープランでの名称
①	主要幹線街路	主要幹線道路
②	都市幹線街路	幹線道路
③	補助幹線街路	地区幹線道路